

## ボンネットの中にニャンと！ 猫がクルマに入り込むトラブル、11 月の 1 カ月で 83 件 ～猫の日直前、猫もクルマも守るために、乗車前に“猫チェック”を～

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は猫の日（2 月 22 日）を目前に控えた 2 月 18 日（水）に、2025 年 11 月 1 日（土）～30 日（日）にかけて発生した“猫がクルマに入り込んだことによるトラブル”の救援要請件数を発表し、乗車前の確認を呼びかけています。

### ■1カ月で 83 件！そのうち 5 件はエンジン始動後に発覚

2025 年 11 月 1 日（土）～11 月 30 日（日）の 1 カ月間でドライバーから「エンジンルームに猫が入り込んでしまった」と救援要請いただいた件数は全国で 83 件ありました。

このうち、エンジン始動後に気づき救援要請されたと明確にわかるものは 5 件でした。

猫が入り込んでいることに気づかずエンジンをかけてしまうと、ベルト類に巻き込まれる可能性があります。巻き込まれた場合、ベルトが千切れてしまうことがあるほか、千切れなくとも洗浄が必要になる可能性があります。



「猫がエンジンルームに入ることを知っていますか？」（クルマ何でも質問箱）

▶<https://jaf.link/4rFMJNc>

### ■乗車前にできる“おすすめの猫チェック”

猫の命を守り、車の故障を防ぐためには、次の確認が大切です。

- ①ボンネットを軽くコンコンとたたく（ノックするようにやさしく）
- ②耳をすませる
- ③猫が動く音や気配を感じたらボンネットを開けてなかを確認  
ボンネットをたたいただけでは猫が出てこない場合もあります。  
そのため、ボンネットをたたくだけでなく、反応した音がしないか耳をすませましょう。

なお、実際の救援要請の中には「ボンネット内から猫の鳴き声がする」「エンジンルームから音がするため確認したい」など、“音”を手掛かりに通報されるケースも複数確認されています。

そのため、ボンネットをたたくだけでなく、耳で気配を確かめる 2 段階のチェックが特に重要です。

JAF は「安全と安心」を軸に、大切な命を守る取り組みを続けるとともに、皆さまの安心できるカーライフを支えてまいります。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館

メディア専用お問い合わせフォーム（右記二次元コード） <https://jaf.or.jp/media>

